

# 外務省戦後中国・朝鮮動向資料 全16巻

[監修・解説] 大澤武司 ●揃予価：本体 574,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7165-7 C3331 A5 判上製／カバー  
(電子書籍＝同時 1 アクセス：本体予価 631,400 円＋税／同時 3 アクセス：本体予 1,262,800 円＋税)  
★電子書籍版は KinoDen ／ Maruzen eBook Library のサービスでご購入になれます。

第1回配本・全5巻	揃定価：本体 183,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7166-4 C3331	2025 年 12 月刊行予定
(電子書籍版＝同時 1 アクセス：本体 201,300 円＋税／同時 3 アクセス：本体 402,600 円＋税)		2026 年 1 月刊行予定

- 1■中国、朝鮮月報 第1巻（「中華民国関係旬報」第1回～第15 回〈1946 年1月～1946 年5月〉）  
定価：本体 37,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7167-1（電子書籍版＝同時 1 アクセス：本体 40,700 円＋税／同時 3 アクセス：本体 81,400 円＋税）
- 2■中国、朝鮮月報 第2巻（「中華民国関係旬報」第23 回～「中華民国政情旬報」第32 回、「中国旬報」第1号～第4号〈1946 年6月～1947 年11 月〉）  
定価：本体 40,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7168-8（電子書籍版＝同時 1 アクセス：本体 44,000 円＋税／同時 3 アクセス：本体 88,000 円＋税）
- 3■中国、朝鮮月報 第3巻（「中国旬報」第5号～第27 号〈1947 年11 月～1948 年6月〉）  
定価：本体 40,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7169-5（電子書籍版＝同時 1 アクセス：本体 44,000 円＋税／同時 3 アクセス：本体 88,000 円＋税）
- 4■中国、朝鮮月報 第4巻（「中国旬報」第28 号～第45 号〈1948 年7月～1948 年12 月〉）  
定価：本体 36,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7170-1（電子書籍版＝同時 1 アクセス：本体 39,600 円＋税／同時 3 アクセス：本体 79,200 円＋税）
- 5■中国、朝鮮月報 第5巻（「中国半月報」第1号～第8号〈1949 年1月～1949 年4月〉）  
定価：本体 30,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7171-8（電子書籍版＝同時 1 アクセス：本体 33,000 円＋税／同時 3 アクセス：本体 66,000 円＋税）

第2回配本・全5巻	揃予価：本体 187,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7172-5 C3331	2026 年末刊行予定
(電子書籍版＝同時 1 アクセス：本体予価 205,700 円＋税／同時 3 アクセス：本体予価 411,400 円＋税)		2027 年初期刊行予定

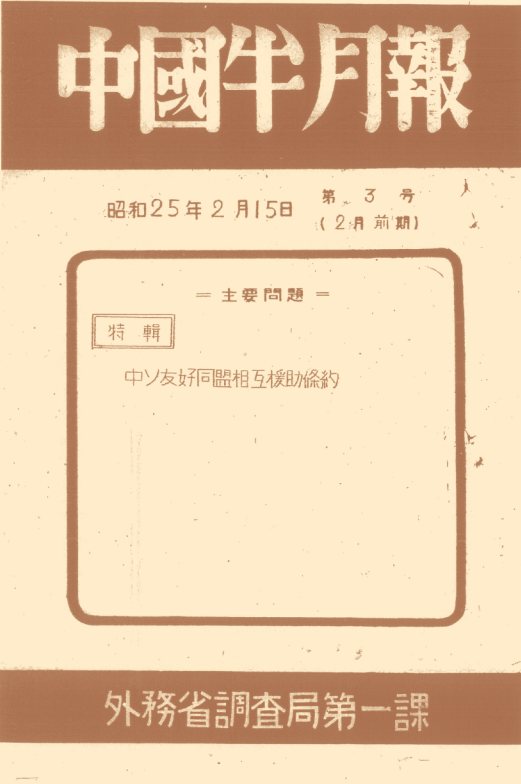
- 6■中国、朝鮮月報 第6巻（「中国半月報」第9号～第19 号〈1949 年5月～1949 年10 月〉）  
予価:本体 38,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7173-2(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 41,800 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 83,600 円＋税)
- 7■中国、朝鮮月報 第7巻 上（〔昭和 24 年〕「中国半月報」第20 号～〔昭和 25 年〕第11 号〈1949 年10 月～1950 年6月〉）  
予価:本体 36,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7174-9(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 39,600 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 79,200 円＋税)
- 8■中国、朝鮮月報 第7巻 下（「中国半月報」第12 号～第23・24 号〈1950 年6月～1950 年12 月〉）  
予価:本体 36,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7175-6(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 39,600 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 79,200 円＋税)
- 9■中国、朝鮮月報 第8巻（「中国半月報」第31 号～第40 号〈1951 年1月～1951 年5月〉）  
予価:本体 37,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7176-3(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 40,700 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 81,400 円＋税)
- 10■中国、朝鮮月報 第9巻（「東亜月報」第1巻第1号～第5号〈1951 年6月～1951 年10 月〉）  
予価:本体 40,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7177-0(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 44,000 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 88,000 円＋税)

第3回配本・全6巻	揃予価：本体 204,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7178-7C3331	2027 年末刊行予定
(電子書籍版＝同時 1 アクセス：本体予価 224,400 円＋税／同時 3 アクセス：本体予価 448,800 円＋税)		2028 年初期刊行予定

- 11■中国、朝鮮月報 第10巻／朝鮮週報（「中国月報」第1巻6号、「中国・朝鮮月報」第2巻第1号～第5号〈1951 年12 月～1952 年5月〉／「朝鮮週報」第3 号～第7 号〈1950 年1月～1950 年3月〉、「朝鮮論評」第1号～第6号〈1950 年4月～1950 年6月〉）  
予価:本体 42,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7179-4(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 46,200 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 92,400 円＋税)
- 12■朝鮮半月報 第1巻（「朝鮮旬報」第15 号～第37 号〈1948 年4月～1948 年12 月〉）  
予価:本体 36,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7180-0(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 39,600 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 79,200 円＋税)
- 13■朝鮮半月報 第2巻（「朝鮮旬報」第38 号、〔昭和 24 年〕「朝鮮半月報」第1号～〔昭和 25 年〕第2号〈1949 年1月～1950 年1月〉）  
予価:本体 37,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7181-7(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 40,700 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 81,400 円＋税)
- 14■朝鮮半月報 第3巻（〔昭和 25 年〕「朝鮮半月報」第3号～第23 号〈1950 年2月～1950 年12 月〉）  
予価:本体 33,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7182-4(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 36,300 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 72,600 円＋税)
- 15■朝鮮半月報 第4巻（〔昭和 26 年〕「朝鮮半月報第1号～第10 号〈1951 年1月～1951 年5月〉）  
予価:本体 20,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7183-1(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 22,000 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 44,000 円＋税)
- 16■解説／総目録  
予価:本体 36,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7184-8(電子書籍版＝同時 1 アクセス:本体予価 39,600 円＋税／同時 3 アクセス:本体予価 79,200 円＋税)

ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493 https://www.yumani.co.jp

ご注文書	ゆまに書房 Tel.03(5296)0491／Fax.03(5296)0493 年 月 日		取扱店	
	外務省戦後中国・朝鮮動向資料 全16巻			セット
	揃予価：本体 574,000 円＋税 ISBN978-4-8433-7165-7 C3331			
	お名前			
ご住所	TEL ( )			



プリント版 二〇二五年二月刊行開始予定  
電子書籍版 二〇二六年一月刊行開始予定

# 外務省戦後中国・朝鮮動向資料

全16巻

「監修・解説」大澤武司 福岡大学人文学部教授

国共内戦から朝鮮戦争に至る中国大陸・朝鮮半島の動向を分析した外務省の報告書。占領期における日本の対中国・朝鮮認識を示す重要資料。

ゆまに書房



特輯

中ソ友好同盟相互援助条約

解説

二月十五日中ソ友好同盟条約が発表された。今次中ソ条約は、ソ連東欧諸国援助条約が東欧に拡大され、世界共産主義陣營がその同盟の形式を型えなことを意味するが、實質的にみれば中共の立場はすてに決定されてしまつてゐる。へたといふ昨年四月北太平洋條約締結時毛澤東は他の民主主義陣營と連帯することを表明してゐた。しかしソ連と中共がその關係を明確にし、同盟の念意として條約上の拘束を出したところと通しては、この結果を預知して充余利用するであらう。また条約そのものの條文、内容、字句にいたるまでソ連共産黨のものをあやうにしているもので、むしろ甚だしいといふものである。世界の共産民主義陣營対立の國際情勢からみれば、

引合に出されてゐるにすぎない。しかし中國國民黨として日本の單獨主義的廢治を破壊する根強い感情のあることを注意するは要がある。本文は主として、中共の立場より今次條約を考へてみる。

中ソ關係からみれば、今次條約はあわゆる別前してゐた中ソ關係の現況を反映するものから前進せしめて、また後退せしめたものである。つまり、ソ連からみれば、今次條約は、ソ連の實力を背景に合はないては、實に我々の利益を損なうものであり、公表された條約文附屬成立の精神も、この實情を反映するべきものである。中共とソ連關係の現在の実態、

／＼ともにマルクサス、レーニン主義世界共産革命を目標とし、政治的聯繫は緊密であること、

(一) 國共の態度  
△延安八月十二日所報は延安側消息通が現在國共間不一致點の主要事項として次の諸點を擧げてゐることを傳へてゐる。

(二) 蘇北問題  
中共は蘇北問題の解決を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。中共は蘇北問題の解決を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。

(三) 中蘇關係  
中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。

(四) 中蘇關係  
中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。

(五) 中蘇關係  
中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。

(六) 中蘇關係  
中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。

(七) 中蘇關係  
中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。

(八) 中蘇關係  
中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。

(九) 中蘇關係  
中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。

(十) 中蘇關係  
中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。中共は中蘇關係の改善を主張してゐる。蘇北は蘇北九省の武力占領を固執する。

【左】昭和21年8月20日「中華民国政情旬報」第23回(第2巻所収)より。【右】昭和25年2月15日「中国半月報」第3号(第7巻所収)より。

本書の特色

- 中国・朝鮮半島の情勢に関し、外務省内で発行された「中国半月報」、「朝鮮半月報」などの資料(1946年～1952年)を影印形式で復刻。
- 中国の国共内戦から共産革命、朝鮮半島における南北政権の対立から朝鮮戦争の展開に関し、詳細な情報、分析を掲載。
- 東アジアの国際関係が流動的であつた時期について、政治・経済・軍事の状況が容易に把握可能。
- 占領下における外務省の、中国・朝鮮半島に対する情報収集・分析能力を推測する手がかりとなる。
- 最終巻に総目次と解説を掲載する。

戦後中国引揚者聴取資料 全23巻 (全巻完結)

——外交史料館所蔵「中共事情」——

【監修・解説】大澤武司 ●揃定価：本体419,000円+税 ISBN978-4-8433-6359-1 C3331 A4判上製  
1953年から1956年まで、中国からの引揚者に対して行われた、膨大な聴き取り調査の記録。留用・革命の実態を克明に証言し、日中間の知られざる歴史に光を当てる重要資料。留用者が勤務した工場、病院、交通・行政機関等、その実態を明らかにする。

関連企画のご案内

刊行にあたって

大澤武司

1945年10月25日、連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)の指令により、第二次世界大戦に敗れた日本の外交権は停止された。それまで外交を主管してきた外務省は、その機能の大部分をGHQの占領管理に関する事務に向けることとなり、日本の対外関係は中立国との接触も含めてGHQによって管理・統制されることとなった。

とはいえ、活動が制限されるなかでも外務省は、東西冷戦が深化する戦後の国際情勢にもちろん無関心ではなかった。新たな戦後国際秩序の混沌を前にして、日本の外務当局はその果たすべき任務を着実に遂行していた。すなわち、将来の日本独立を見据え、アメリカの対中政策はもとより、中国の国内情勢や国共内戦の動向、さらには米ソが強く関与する朝鮮半島の南北対立の趨勢など、主に外電を通じて獲得した現地の公然情報をはじめとする膨大な情報を丹念に収集・分析することで来るべき時代の東アジアの政治・外交情勢を見出そうとする努力を続けていたのである。

本資料『外務省戦後中国・朝鮮動向資料』は、外務省外交史料館に所蔵される、連合国軍占領下で外務省の関係部門が行った中国および朝鮮に関する情報の調査・収集、分析ならびに考察の成果をまとめた報告書を時系列かつ体系的に収録したものである。中国関係では、1946年1月発行の「中華民

国関係旬報」にはじまり、「中華民国政情旬報」「中国旬報」「中国半月報」「東亜月報」「中国月報」など、1951年末に至るまで定期的に発行された報告書が含まれる。また、朝鮮関係では、朝鮮半島の分断が間近となった1948年4月発行の「朝鮮旬報」から「朝鮮半月報」「朝鮮週報」、さらには断続的に発行された「朝鮮論評」も含め、1952年1月発行の「中国・朝鮮月報」に統合されるまで発行が続けられた。

本資料の最大の特徴は、敗戦国となった日本の外務省が、東アジア国際情勢のいかなる情報に強い関心を有していたのか、という点がきわめて明確に読み取れる点にある。特に国共内戦の趨勢を見極めるため、各種の外電を通じて網羅的かつ体系的に収集された現地情報は、米中関係や中国内政、経済関係、さらには軍事関係にまで及んだ。そして、これらを基礎として今後の展開を検討・予測するなど、外交の基礎となる情報の調査・収集、分析ならびに考察が、占領下においても脈々と続けられていたことが確認でき、まさに戦後日本外交の胎動のありようを理解することが可能となっている。

すなわち、本資料を構成する数々の報告書は、「外交」を支える情報収集に関する外務省の強いこだわりを強く印象づける資料群であるといえる。そして、読み手が自らの研究関心にに基づきこれらを読み解くとき、いわゆる日本外交の戦前と戦後における連続性と非連続性をはじめ、さまざまな問題を考えるうえで数多くの示唆を得ることが期待できると考える。(福岡大学人文学部教授)

【五】昭和二五年四月「朝鮮論評」第一号(第二巻所収)より。  
【左】昭和二五年九月「朝鮮半月報」第一八号(第一五巻所収)より。

戦況

(一) 国連軍のソウル奪回

十五日、仁川に上陸作戦を行つた米第十軍団の海兵第一師団は、十六日同市を占領し、一隊は十七日釜山浦を占領した(釜山浦十八日発表)。続いて米陸軍第一師団は、十六日同市を占領し、一隊は十七日釜山浦を占領した(釜山浦十八日発表)。続いて米陸軍第一師団は、十六日同市を占領し、一隊は十七日釜山浦を占領した(釜山浦十八日発表)。

(二) 南部国連軍の反撃

仁川に上陸作戦に成功し、馬山、大邱、浦項を占領した米第十軍団は、十六日同市を占領し、一隊は十七日釜山浦を占領した(釜山浦十八日発表)。続いて米陸軍第一師団は、十六日同市を占領し、一隊は十七日釜山浦を占領した(釜山浦十八日発表)。

(三)